



GOOD DESIGN AWARD 2022

グッドフォーカス賞 [防災・復興デザイン]

景観や自然環境に配慮した  
塔の島河川整備事業

---

---

受賞カテゴリー	ランドスケープ、土木・構造
受賞対象名	河川整備 [景観や自然環境に配慮した塔の島河川整備事業]
事業主体名	国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所
プロデューサー	国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所
デザインディレクター	東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 宮城俊作
デザイナー	株式会社東京建設コンサルタント 田中亨介

---



# Overview:

## 塔の島地区河川整備 概要

塔の島地区の河川整備前の流下能力は、  
 淀川水系河川整備計画の目標とする流量1500m<sup>3</sup>/sに対し、  
 890m<sup>3</sup>/sと流下能力が不足していました。

そこで平成21年度より「塔の島地区河川改修事業」に着手し、  
 景観や自然環境に配慮した  
 最小限の掘削および護岸整備により、  
 洪水を安全に流下させる河川整備を行いました。

事業期間	平成21年度～平成30年度
工事費	約60億円



平成25年(2013年)台風18号の宇治川の出水状況

### 導流堤整備



塔の川については、一年を通じて、釣りや遊船が行えるよう、増水時においても安定した流れを確保するための導流堤を設置しました。また、専門家のアドバイスを受け、景観にも配慮しました。

## 塔の島の変遷

流下能力向上をめざした河川整備を行うとともに、景観にも配慮し、昭和以前の中州の形状をイメージして、歴史的趣のある自然な形状となる整備を行いました。



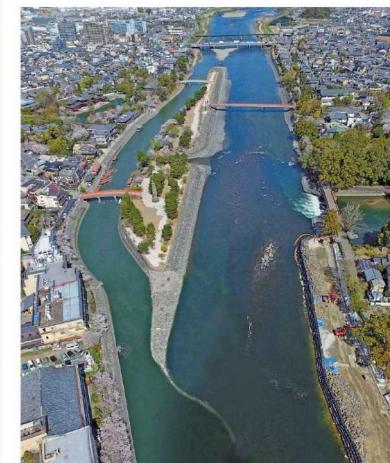
昭和23年空撮



昭和49年空撮



平成7年空撮



現在(平成31年4月撮影)

## 護岸構造について

### 宇治川護岸

昭和初期の塔の島護岸が、緩やかな石積であったことから1:2.5の自然石の野面石積護岸を採用。



撮影:昭和初期

### 塔の川護岸

塔の川護岸は遊船に配慮し、川幅を広く確保できるように1:0.5の自然石の野面石積護岸を採用。



撮影:昭和初期

### 使用石材

各地の石材を比較し、現況河床材料と近い黒系色の「撰選石」を使用。



塔の川直下流

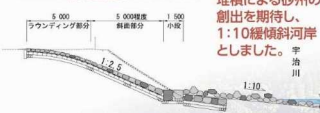
### 宇治川護岸整備



景観に配慮し、1:2.5の緩勾配護岸としました。

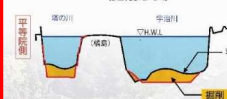
将来的な土砂の堆積を期待し、1:10緩傾斜河岸としました。

歴史・伝統・文化を踏まえた石積護岸とし、水際部は景観や自然環境に配慮した形状としました。



### 河床掘削

(掘削形状)



計画の流量を確保するため河床掘削を行いました。

### 塔の川護岸整備



塔の川の遊船に配慮した石積護岸を整備。

### 橋島の切り下げ

橋島の下流部を切り下げることにより、中州の景観を復元するとともに、より開放的な空間を創出しました。併せて、さくらまつりなどのイベントスペースを確保するための整備を行いました。また、塔の川の落差工についても、遊船に配慮し切り下げを行いました。

### 塔の川河床掘削

塔の川の河床も掘削し、流下能力を増大。



# Concept:

## Concept 01

河川がもたらす自然の作用によって  
形成される中洲の景観と環境の再生



河川整備対象範囲の全景

## Concept 02

周辺に点在する文化財や文化的景観  
の歴史的風致に調和する土木事業

16世紀の古図に描かれている石塔が  
いまでも存在するなど、歴史的風致  
との調和を目指した



平等院境内古図(16世紀・平等院蔵)



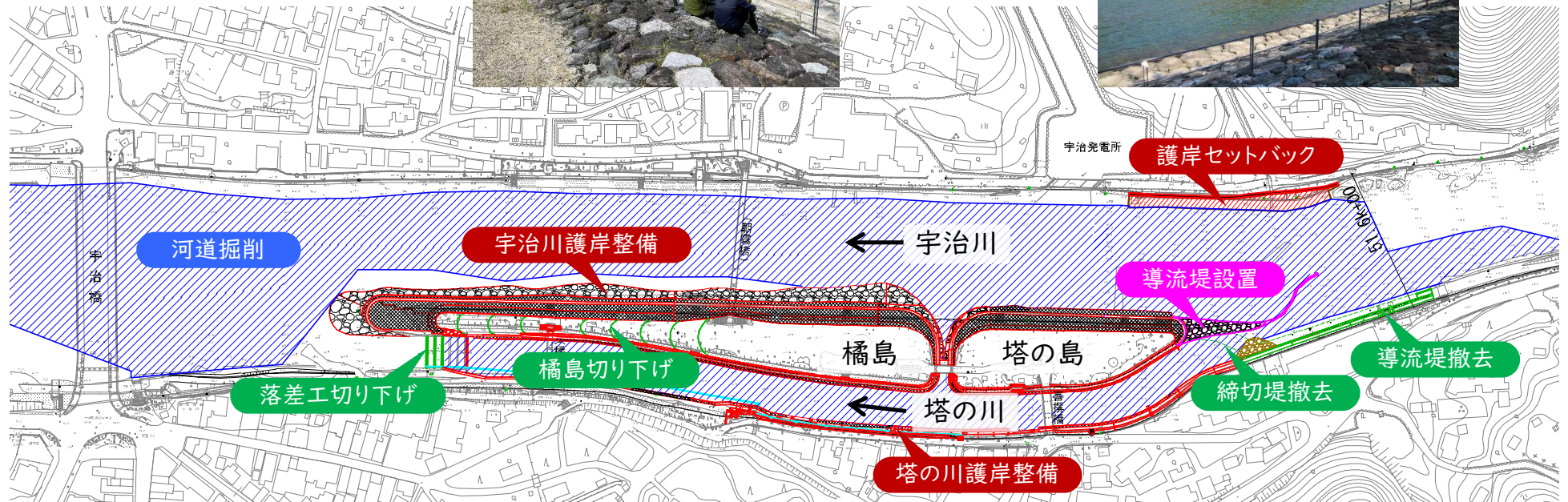
# Design Solution:

河道掘削: 約15,000m<sup>3</sup>  
 護岸整備: 約2,000m  
 導流堤: 1基

①緩勾配の宇治川護岸



⑤右岸の護岸セットバック



②橋島下流部切り下げ



③塔の川の石積み護岸



④石材による上流部導流堤



# Landscape:

**1** 宇治橋から上流を望む



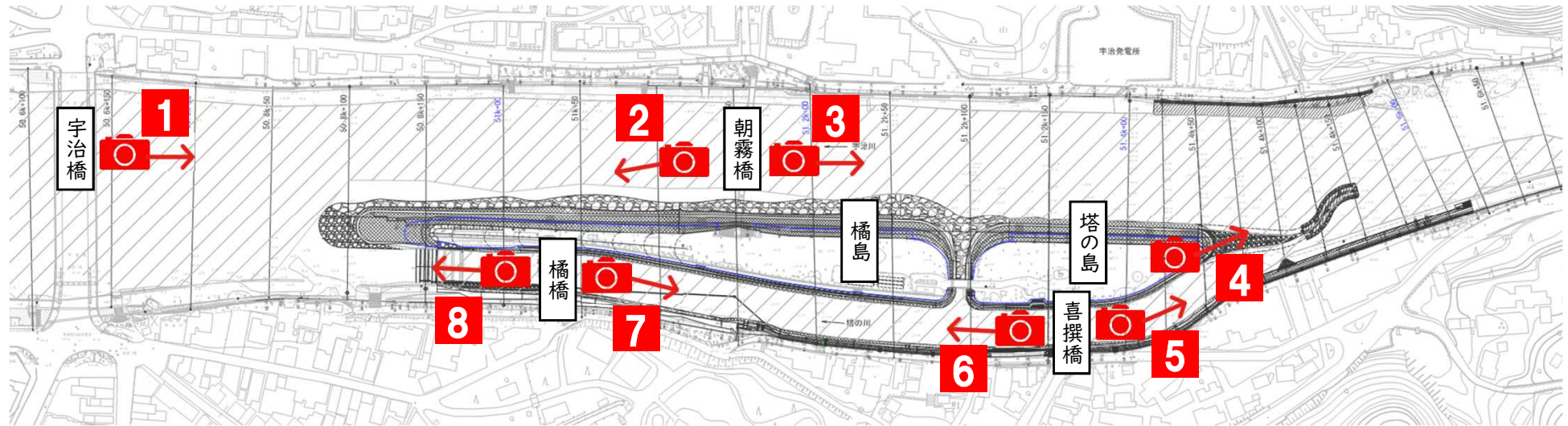
**2** 朝霧橋から下流を望む



**3** 朝霧橋から上流を望む



**4** 塔の島上流の導流堤



**8** 橋橋から下流を望む



**7** 橋橋から上流を望む



**6** 喜撰橋から下流を望む



**5** 喜撰橋から上流を望む





## Landscape:

### 遠景における中洲の景観と環境の再生



コンクリートで固められた急勾配の護岸  
河道や水面から立ち上がった人工的なシルエット  
水辺から切り離された公園的な緑のボリューム



石積みと砕石による有機的で緩勾配の護岸  
河道と水際になじむ柔らかく自然なシルエット  
水辺の植生回復と生き物をひきつける環境



## Landscape:

### 中景の水辺になじむ護岸・近景の親水性の高い設え



石積みと砕石による柔らかな護岸形状

下流に向かって緩やかに下がり水辺になじむランドフォーム

対岸からほとんど視認されない転落防止柵の配置

石積みのラウンディングによる護岸の滞留スペース

川の流れに向かって腰をおろしたくなる勾配

川面への眺望を阻害しない鍛鉄の転落防止柵